

セントジョージマラソン 派遣団 体験報告

10月4日(水)～10月11日(水)の8日間、昨年のいびがわマラソンで優秀な成績をおさめたランナーの皆さんがマラソン交流事業の派遣団としてセントジョージ市を訪れ、セントジョージマラソンに出場しました。

ランナーの皆さんから報告書が届きましたので一部を抜粋して掲載します。(紙面の都合上次号と2回に分けて掲載します)

町内男子優秀ランナー 坪井 信親さん

マラソン当日の朝は、とても寒く冬のようでした。しかし、スタート地点に行くときと大音量の音楽が流れており、だんだんテンションが上がってきました。コースは一本道で下りが多いからベストタイムが出ると思っていたのですが、実際に走ってみると800メートルの高低差はとて厳しく感じました。私はいびがわマラソンのTシャツを着ていたので、他のランナーや沿道の方から「いびがわんばれ」と声援をいただき、大変励みになりました。何とか歩かず走り切ることができました。結果は、3時間27分で昨年のいびがわマラソンより1分早いタイムでした。ホームステイ先では、スミス夫妻に大変お世話になり、ゴール直後にマッサージまでしてくれました。

交流は今回で29回目ということでこれから長く続いていく欲しいと思います。

町内女子優秀ランナー 坪井 美奈さん

フルマラソンを1回しか経験したことがなかった私は何日も前から不安と緊張でいっぱいでした。とりあえず完走しよう」と弱気な気持ちでした。

ホストファミリーの方はとても親切で、私の体調のことを気にかけてくださった。マラソン前日にはコースの特徴を教えてください、何より嬉しかったことはマラソン当日、30キロメートル地点あたりで私を見つけ、抱きついて応援してくれたことです。とても励みになり元気をもらいました。

想像以上にアップダウンが激しいコースで早い段階から足に痛みが来ましたが、なんとか無事にゴールすることができ、ホッとしました。走っていて一番驚いたことは何人ものランナーの方に「BIGAWA Good Job!」と声をかけられたことです。

揖斐川町とセントジョージ市の交流の深さ・歴史を実感しとても感動しました。



坪井 信親さん(左から2人目)、坪井 美奈さん(最右)

谷汲中学校統合 50周年記念行事

10月28日(土)、谷汲中学校で谷汲中学校統合50周年記念式典が開催されました。

第1部の記念式典では、後期生徒会長山岸真子さんが「先輩方が築き上げられたこの谷汲中学校を更に高めていきます」と力強く語りました。第2部では、平成3年度卒業生で落語家真打の立川小談志さん(寺田政春さん)による落語の披露と「自分の選んだ道を正解にする」と題して記念講演が行われ、会場は笑顔に包まれていました。

自分の選んだ道を正解にする

講師 立川小談志 氏



▲落語を披露する立川小談志さん

やまと・きたがた幼児園へ 和太鼓の寄贈

9月26日(火)、イビデン大垣北事業場、10月4日(水)、末永製作所からやまと・きたがた幼児園へそれぞれ和太鼓2台が寄贈されました。和太鼓は、やまと・きたがた幼児園の園児が、北方の住民の方から指導を受けている「ほのほの太鼓」で使用されるものです。この寄贈はイビデン大垣北事業場と末永製作所が地域貢献活動の一環として行ったものです。



▲目録の受け渡し
上: イビデン
大垣北事業場
左: 末永製作所

